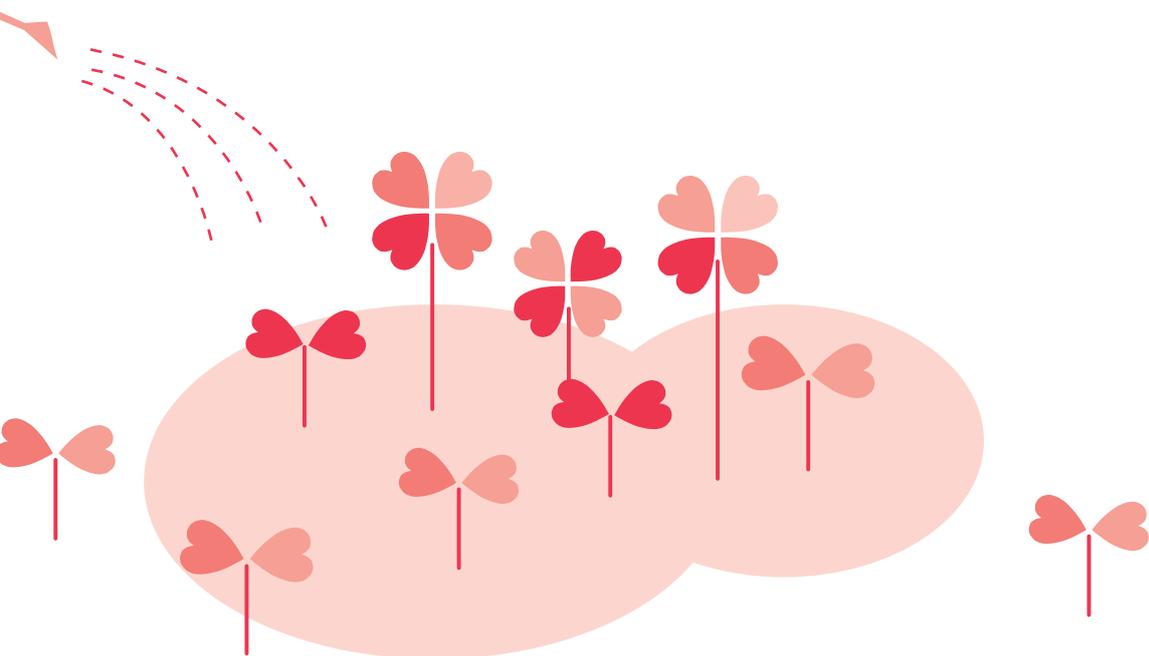




資料



1 策定の経過

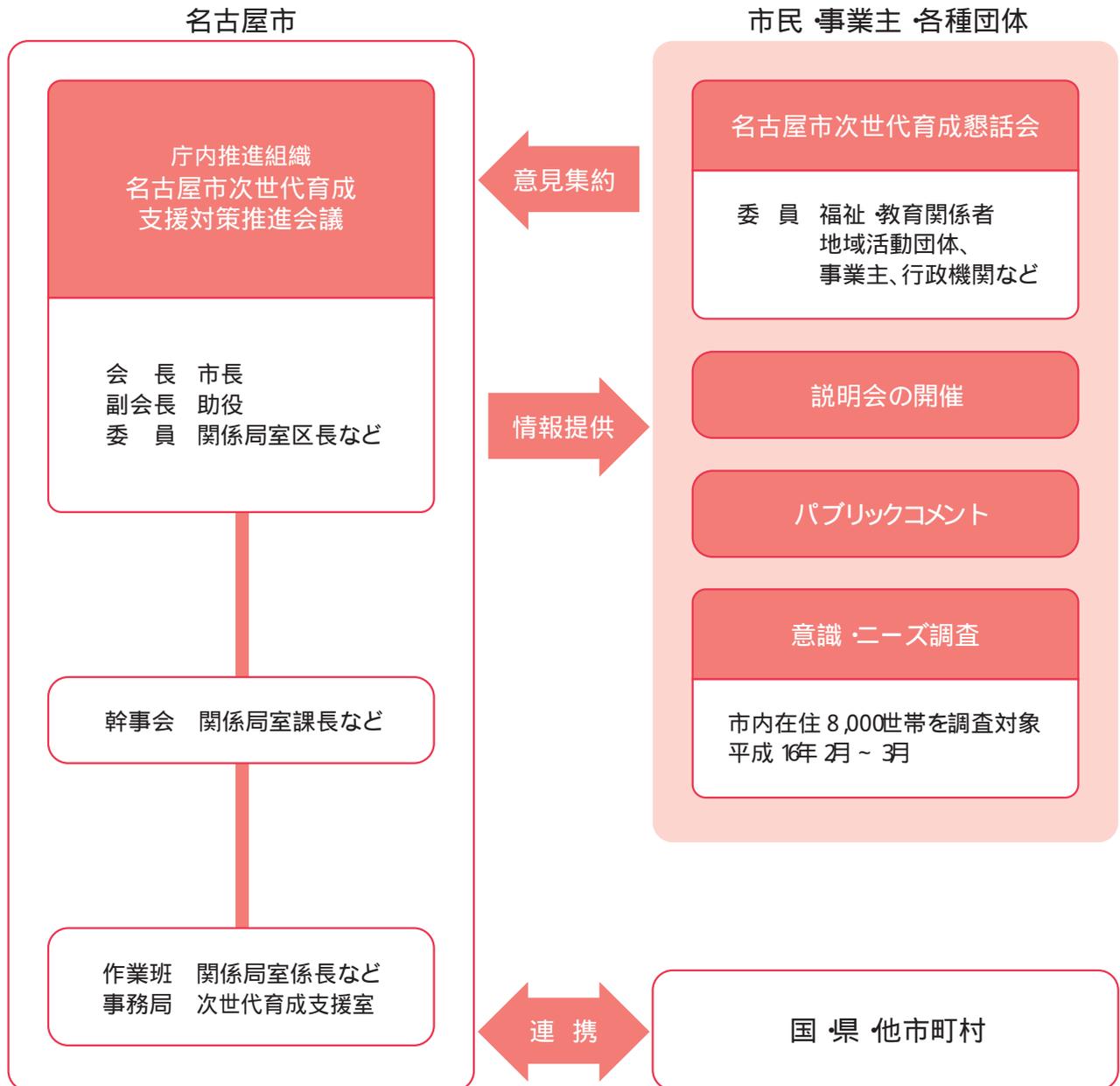
平成 16 年

2月～3月	子育てに関する意識・ニーズ調査 実施
4月 1日	健康福祉局に「次世代育成支援室」設置
26日	次世代育成支援対策推進会議 準備会(幹事会)
5月 17日	次世代育成支援対策推進会議 第1回幹事会
27日	市政出前トーク実施(緑区)
31日	次世代育成支援対策推進会議 第1回作業班全体会議
7月 10日	名古屋ニューアングル(市政広報テレビ番組)「子どもの笑顔があふれるまち」
22日	次世代育成支援対策推進会議 第2回幹事会
29日	第1回 次世代育成懇話会
8月 10日	少子化・青少年対策特別委員会 「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画について」
	子育てに関する意識・ニーズ調査結果公表
17日	次世代育成支援対策推進会議 第3回幹事会
23日	第1回次世代育成支援対策推進会議 「本市行動計画策定の概要について」
	「本市の行動計画策定にあたっての基本的な考え方」
9月 3日	次世代育成支援対策推進会議 第2回作業班全体会議
6日	第2回次世代育成懇話会
13日	市政出前トーク実施(天白区)
10月 19日	第3回次世代育成懇話会
23日	名古屋市長がこども100人に聞きました(集会)(名古屋港ポートビル)
27日	なごやかトーク(集会広聴)「次世代を担う子どもたち」～市民意識から見た大人たちのすべきこと～
11月 3日	いとお産の日(アンケート実施)(中区役所)
7日	なごやシティ・ナウ(市政広報テレビ番組)「子育て支援のできること」
8日	次世代育成支援対策推進会議 第4回幹事会
11日	少子化・青少年対策特別委員会「次世代育成懇話会について」
18日	なごや市政特番(市政広報テレビ番組)「少子化社会を考える」
22日	第2回次世代育成支援対策推進会議「次世代育成行動計画(仮称)素案(案)について」
30日	第4回次世代育成懇話会
	次世代育成支援対策推進会議 第5回幹事会
12月 14日	少子化・青少年対策特別委員会 「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画について」
	名古屋市次世代育成行動計画(仮称)素案公表
12月 16日 ～1月 17日	次世代育成行動計画(仮称)素案 パブリックコメント実施

平成 17 年

1月 12日	市政出前トーク実施(天白区)
13日	市政出前トーク実施(北区)
2月 7日	次世代育成支援対策推進会議 第6回幹事会
14日	第3回次世代育成支援対策推進会議「次世代育成行動計画(案)について」
3月 25日	少子化・青少年対策特別委員会 「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画について」

2 行動計画策定推進体制



3 名古屋市次世代育成懇話会

行動計画を策定するにあたり、子どもの成長や支援にかかわる団体、関係者など20名の委員により、地域における次世代育成支援対策について、幅広く意見交換することを目的として設置

委員名簿

(委員名50音順、敬称略)

座長	かげやま ひでのり 蔭山 英順	名古屋大学大学院 (教育発達科学研究科)
副座長	なりた ともこ 成田 朋子	名古屋柳城短期大学 (保育科)
委員	えぐち 江口 このみ	子育てサークルと市民の交流会実行委員会
委員	かんとく かずこ 神頭 和子	名古屋市立小中学校長会
委員	くまもと まりこ 隈元 真理子	子どもの虐待防止ネットワークあいち
委員	こうの や としもり 國府谷 俊盛	名古屋市私立幼稚園協会
委員	しかや かずこ 鹿谷 和子	名古屋市立小中学校 PTA協議会
委員	しみず しんいち 清水 真一	愛知県経営者協会
委員	すぎ あつこ 杉 敦子	名古屋市民生委員児童委員連盟
委員	たなか みつよ 田中 光代	名古屋市子ども会連合会
委員	の だ あつり 野田 敦敬	愛知教育大学 (生活科教育講座)
委員	の だ やすなが 野田 泰永	名古屋市医師会
委員	はしもと しん 橋本 新	日本労働組合総連合会愛知県連合会
委員	は せ がわ けいこ 長谷川 桂子	名古屋弁護士会
委員	ひらい なりとし 平井 誠敏	名古屋市児童養護連絡協議会
委員	ひらて さぶろう 平手 三郎	名古屋市区政協力委員議長協議会
委員	ふじた ますこ 藤田 満寿子	厚生労働省愛知労働局
委員	ほりお さとる 堀尾 理	愛知県警察本部
委員	やま だ まさこ 山田 政子	名古屋市地域女性団体連絡協議会
委員	やま なか けんじ 山中 健司	名古屋民間保育園連盟

(任期:平成16年7月29日～平成17年3月3日)

開催状況

第1回	平成16年 7月29日(木)	座長、副座長選出 行動計画策定の背景 行動計画策定の推進体制と今後のスケジュール
第2回	平成16年 9月6日(月)	名古屋市の行動計画策定における基本的な考え方について 子育てに関する意識・ニーズ調査報告書」や「国の行動計画策定指針」を ふまえた名古屋市の行動計画について ・子どもの年齢別にみた支援のあり方について (就学前児童のいる家庭と子どもへの支援、小学校児童のいる家庭と子どもへの支援)
第3回	平成16年 10月19日(火)	子育てに関する意識・ニーズ調査報告書」や「国の行動計画策定指針」を ふまえた名古屋市の行動計画について ・子どもの年齢別にみた支援のあり方について (中学生以上の青少年への支援) ・子どもをとりまく環境やまちづくりなど ・地域の連携や行政との協働について
第4回	平成16年 11月30日(火)	名古屋市の次世代育成行動計画について 懇話会としての意見のまとめ

4 名古屋市次世代育成支援対策推進会議

次代の社会を担う子どもを育成し、又は育成しようとする家庭に対する支援その他の次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備「次世代育成支援対策」を総合的に推進する目的で設置

推進会議構成員

会長	市長	委員	交通局長
副会長	助役	委員	消防長
委員	収入役	委員	選挙管理委員会事務局長
委員	市長室長	委員	監査事務局長
委員	総務局長	委員	人事委員会事務局長
委員	財政局長	委員	教育長
委員	市民経済局長	委員	市会事務局長
委員	環境局長	委員	総務局理事(企画調整)
委員	健康福祉局長	委員	市長室参事(調整・広報)
委員	住宅都市局長	委員	総務局企画部長
委員	緑政土木局長	委員	総務局総合調整部長
委員	市立大学事務局長	委員	中村区長
委員	上下水道局長	委員	中区長



幹事会構成員

幹事長	健康福祉局次世代育成支援室長	幹事	健康福祉局保育課長
幹事	総務局企画課長	幹事	健康福祉局児童家庭部主幹(保育事業)
幹事	総務局企画調整室長	幹事	健康福祉局障害施設課長
幹事	総務局男女平等参画推進室長	幹事	住宅都市局住宅企画課長
幹事	総務局人事課長	幹事	緑政土木局緑地施設課長
幹事	財政局財政課長	幹事	教育委員会学事課長
幹事	市民経済局地域振興課長	幹事	教育委員会指導室長
幹事	市民経済局交通安全対策課長	幹事	教育委員会学校保健課長
幹事	市民経済局勤労福祉室長	幹事	教育委員会生涯学習課長
幹事	環境局総務課長	幹事	教育委員会青少年室長
幹事	健康福祉局健康増進課長	幹事	教育委員会スポーツ振興課長
幹事	健康福祉局児童課長	幹事	交通局経営企画課長

テーマ別作業班

小さな子どものために(就学前児童)	<p style="text-align: center;">8局 38名</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 総務局2名 市民経済局3名 健康福祉局15名 教育委員会14名 住宅都市局1名 緑政土木局1名 交通局1名 環境局1名 </div>
元気な子どものために(小・中学校)	
自立していく若者のために(青少年)	
子どもの健康	
子どもに優しいまちづくり	
援護の必要な子どもへの対応	
仕事と家庭の両立	

5 市長がこども100人に聞きました

【開催日時】 平成16年10月23日(土) 午前11時30分～午後0時30分

【開催場所】 名古屋港ポートビル

【参加者数】 120人(応募者数は185人)

【開催の目的】 子どもたちが日常感じていることを率直に市長に話す場を設け、聴取したさまざまな意見を「子どもの視点」として計画に反映すること

主な子どもの意見

普段何をして過ごしているか	<ul style="list-style-type: none"> 祖父の家で遊ぶ クラブ活動 習い事 	<ul style="list-style-type: none"> 公園で遊ぶ 児童館に行く 学童に行く 	<ul style="list-style-type: none"> トワイライトで遊ぶ パソコンをする お菓子作り 	など
夢・チャレンジしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ピアニスト 漫画家 オセロで強くなりたい 	<ul style="list-style-type: none"> イチロー選手のようにになりたい パン屋さん プロのレーサー 	<ul style="list-style-type: none"> 市長さん 	など
名古屋のこんなところが好き	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便がいい 自然がいっぱいで美しい 科学館と電気の科学館 親子三代で同じ小学校に通っていて親しみがある 			など
名古屋のまちをもっと素敵 なまちにするには	<ul style="list-style-type: none"> 遊園地を作ってほしい 自然を増やしてほしい お年寄り、障害者のために、地下鉄の駅にエレベーターを完備してほしい 			など



6 子育てに関する意識・ニーズ調査

1. 調査概要

- [目的] 次世代育成支援対策を推進するための具体的な行動計画を策定するにあたり、子育て家庭の生活意識やニーズを把握し、計画の基礎資料とする。
- [調査期間] 平成16年2月19日～3月15日
- [調査方法] 就学前児童のいる世帯4,500世帯、小学校児童のいる世帯3,500世帯の計8,000世帯を抽出し、郵送した。
- [調査対象属性等] 有効回答数は、4,358人で55.0%の有効回答率だった。また、保育の場所については、3歳未満児は84.6%が自宅であり、3歳以上児は幼稚園で59.7%、保育所で33.3%である。なお、回答者の93%が母親である。

区 分	就学前児童のいる世帯	小学校児童のいる世帯	合 計
送 付 数	4,454世帯	3,472世帯	7,926世帯
有効回答数	2,454世帯	1,904世帯	4,358世帯
有効回答率	55.1%	54.8%	55.0%
回 答 者	母親 (94.3%)	母親 (91.3%)	母親 (93.0%)
調査項目数	26項目 35問	27項目 34問	
平均家族数	4.27人	4.57人	4.40人

世帯の子どもの数	2人 (53.5%)	3人 (20.7%)	1人 (20.1%)
----------	------------	------------	------------

区 分	3歳未満児	3歳以上児
保育の場所	自宅 (84.6%) 保育所 (11.4%) 幼稚園 (1.7%)	幼稚園 (59.7%) 保育所 (33.3%) 自宅 (4.5%)

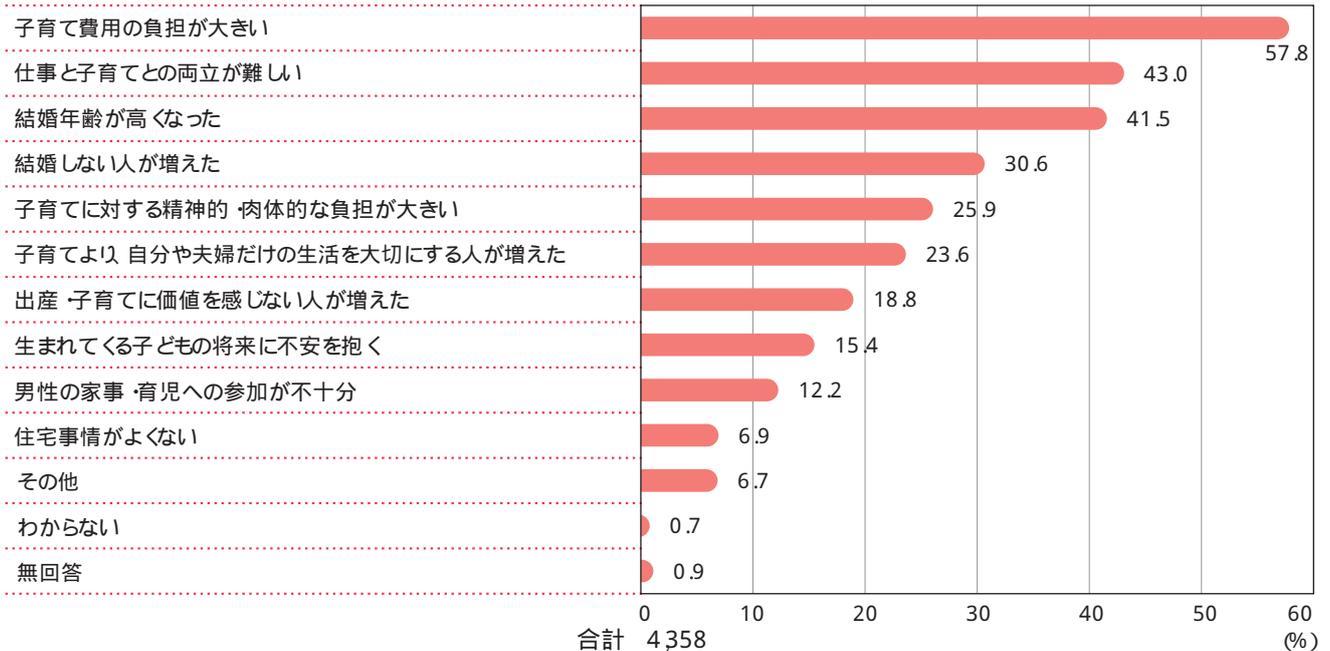
2.調査結果 (抜粋)

少子化と子育てに関する意識

合計特殊出生率の低下理由

経済的負担、仕事と子育ての両立の困難さ、結婚年齢の高齢化・未婚化、身体的・精神的負担を挙げている人が多い

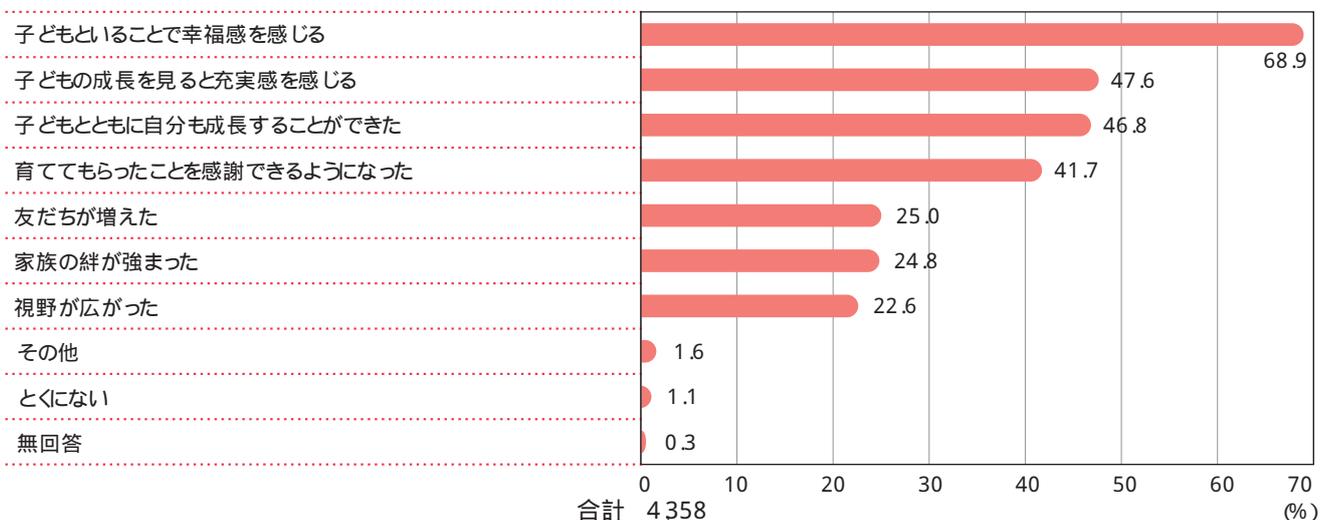
Q:合計特殊出生率が低下しているのはどんな理由からだと思えますか(3つまでの複数回答)



子育てでよかったこと

幸福感・充実感を感じることを挙げている人がほとんどである。

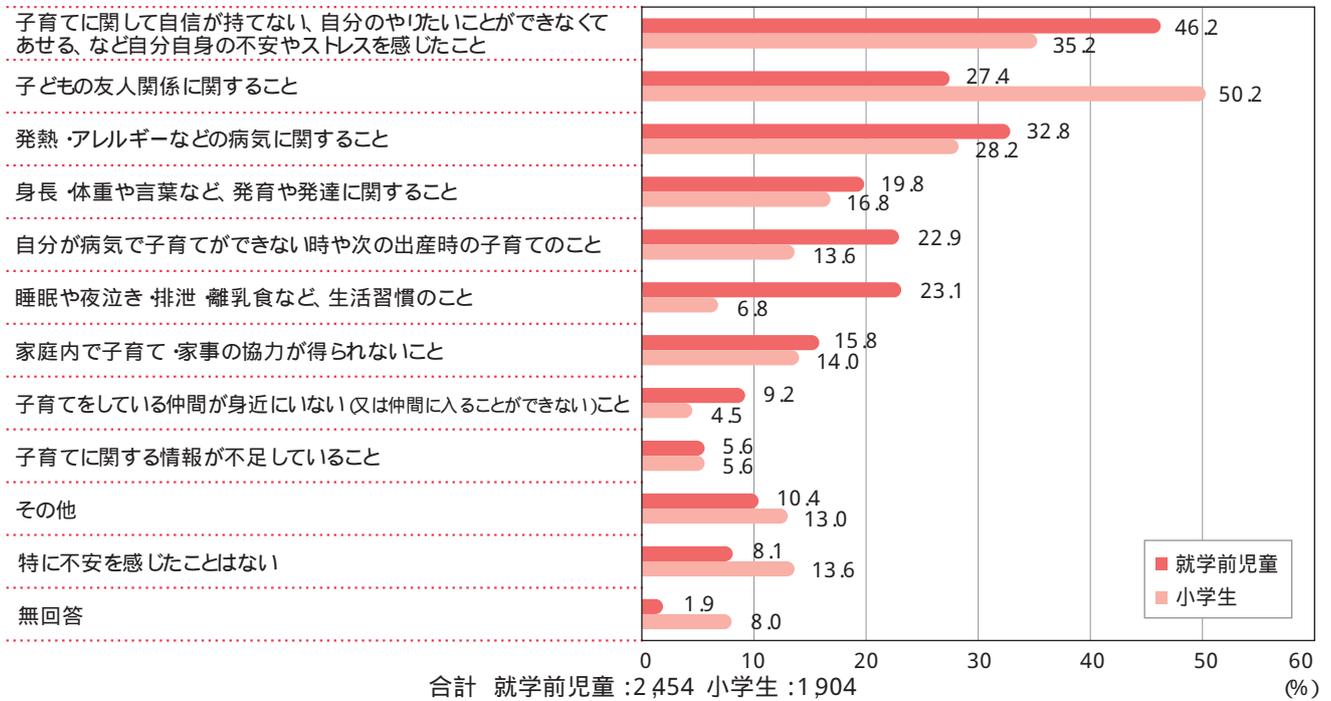
Q:子育てを通じてよかったと感じたことは(3つまでの複数回答)



子育てでの不安や困ったこと

就学前児童については、子育てや自分に関する不安やストレスを感じる人が多い、小学生については、子どもの友人関係に関することが多い

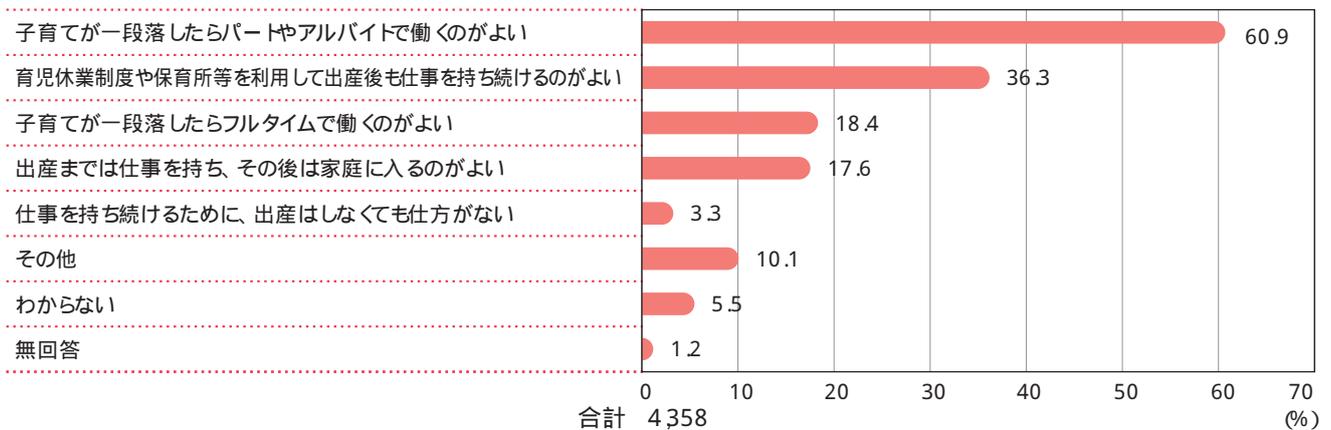
Q :子育てで、どのようなことに困ったり不安を感じますか（3つまでの複数回答）



女性の子育てと就労について

子育てが一段落したら働きたい人が多い、次いで、仕事を続けたいと思う人が多い

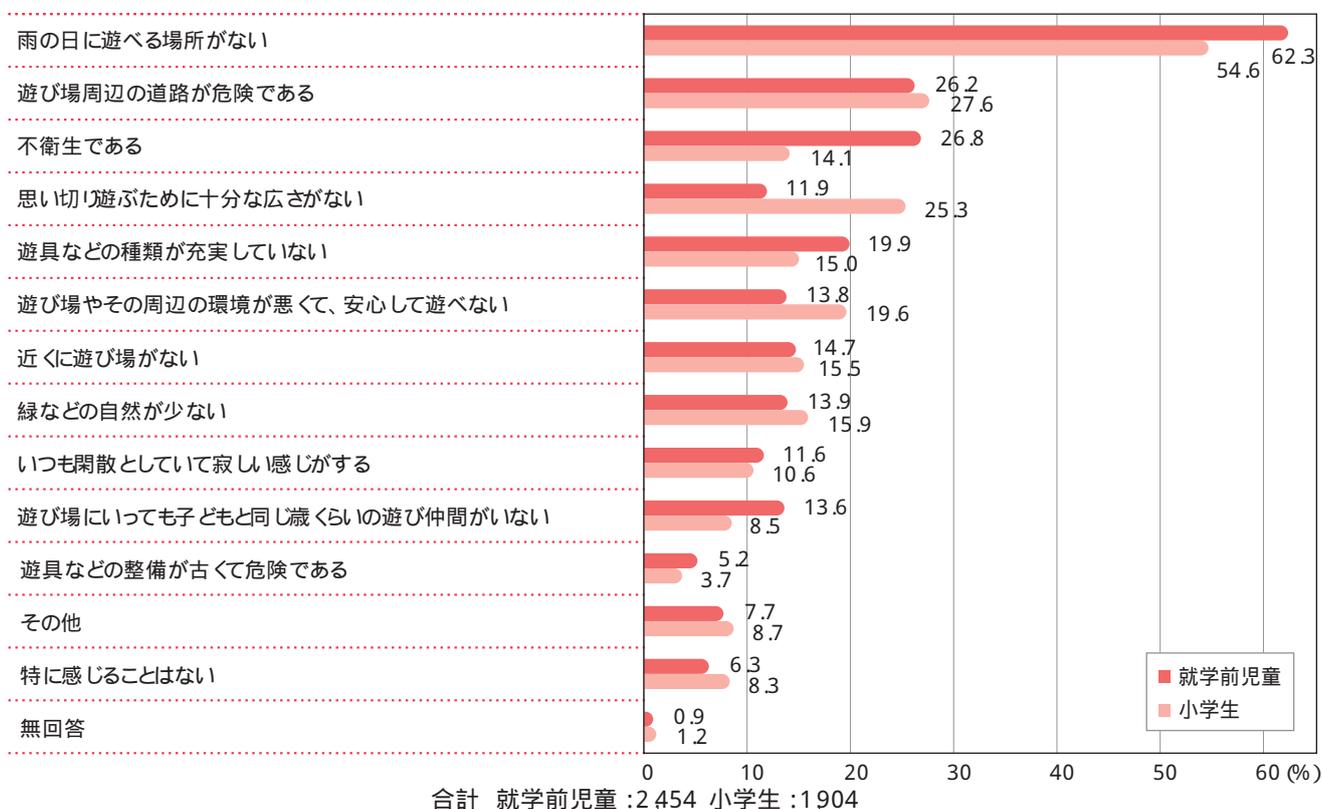
Q :女性の子育てと仕事に関して、あなたはどのような意見をお持ちですか（2つまでの複数回答）



家の近くの遊び場について

就学前児童、小学生ともに、雨の日に遊べる場所がない」が多い。また、道路が危険など安全性や快適な環境整備に対する要望が多い。

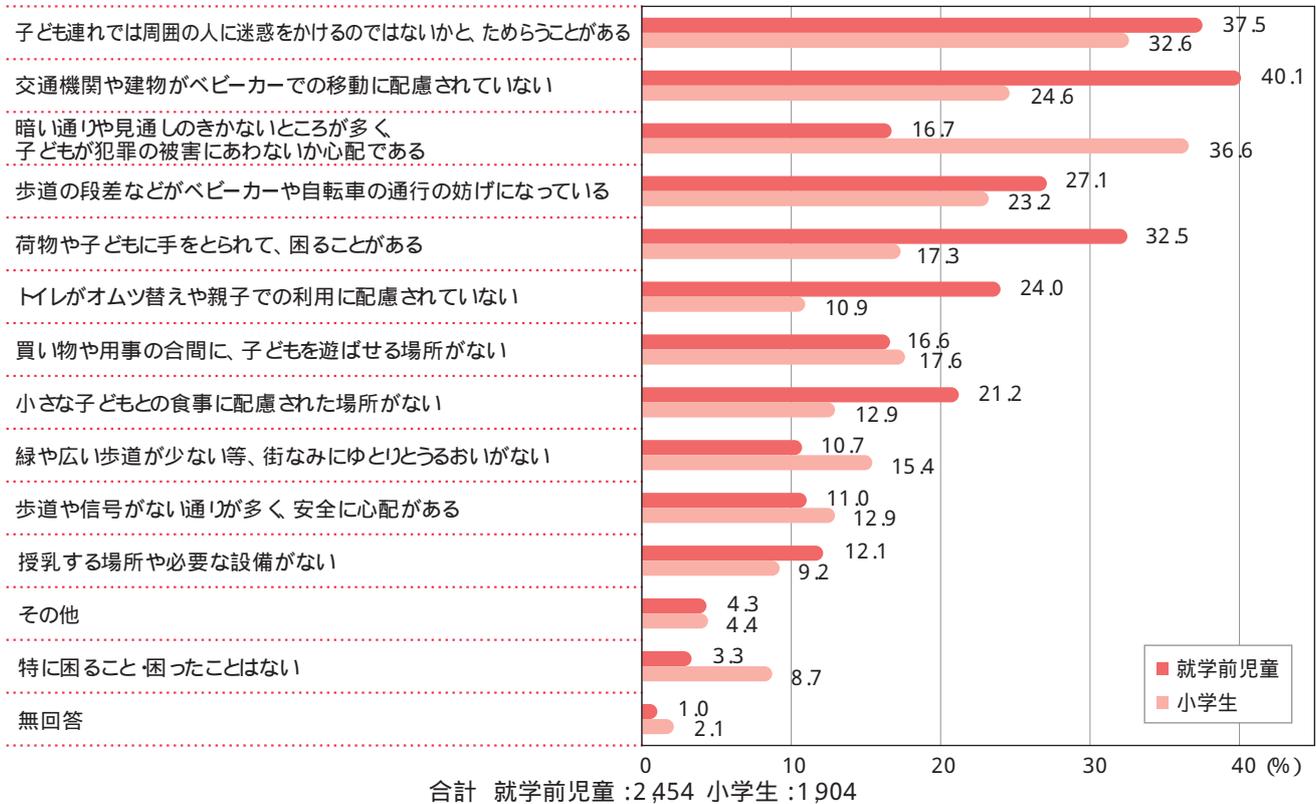
Q:家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか(3つまでの複数回答)



子どもとの外出の際、困ること・困ったこと

就学前児童では、交通機関などの配慮がないことが多く、小学生では犯罪の被害への心配が多い。

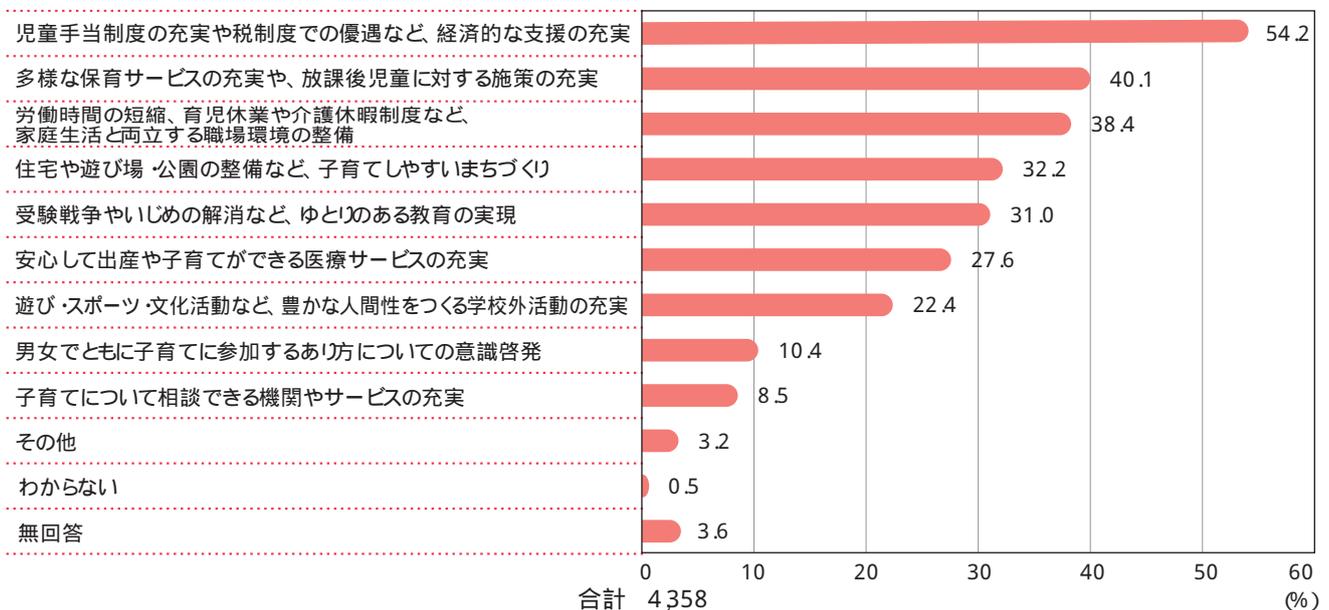
Q:子どもとの外出の際、困ること・今までに困ったことは何ですか(3つまでの複数回答)



子育てしやすい社会を作るために、行政に期待すること

経済的支援や保育サービスの充実、放課後児童の施策の充実、職場環境の整備、まちづくり、教育、医療サービスなど多方面にわたる。

Q:子育てしやすい社会を作るために、国や市などの行政に何を期待しますか(3つまでの複数回答)



7 名古屋市子育て支援長期指針

-笑顔あふれるなごやっ子プラン - (平成11年8月策定)

指針策定の基本的考え方

基本目標

子どもの笑顔があふれるまち名古屋の実現」

基本的視点

安心して子どもを産み育てることができる環境整備
すべての子どもと家庭を対象
子どもの最善の利益を尊重
男女共同参画を促進

基本方針

子育て家庭がいきいき暮せる環境づくり
子育てしながら安心して働き続けられる環境づくり
子どもがのびのび過ごせる環境づくり
援助を要する子どもと家庭の自立を支援する環境づくり
男女が共に子育ての責任を果たしあえる環境づくり
子育てを社会全体で支えあう環境づくり

